



～タイトル「玉燈」によせて～

「玉」は立派なものに磨きあげる、「燈」は教え、照らすを表し、「子どもへの愛育」と「情熱に満ち溢れる教師道」をイメージしています。また、「玉燈」は、郷土の先人 國友一貫斎の代表的発明品としても知られています。

「思考と言語」

長浜市教育委員会
教育長 織田 恭淳



昨年、授業参観した中で忘れられないシーンがあります。それは、ある小学校の3年生理科の授業です。ビデオで、チョウが幼虫からさなぎになり、いよいよ成虫として羽ばたくために殻を破っているシーンをみんなが見ていました。突然一人の男の子が、「がんばれー！」と画面に向かって叫びだしたのです。その後、次から次へと声援をおくる子どもが増え、最後には全員での大合唱になりました。この子たちは虫への愛情を「がんばれー！」の言葉に乗せて表現したのです。この心、この表現力こそが「真の学力」だと思います。人や生き物などの命を尊重する表現ができれば、社会において他者を尊重し共存できる可能性が高まるのです。このような光景は、どこの学校園でも見られるのではないのでしょうか。その尊さを評価してあげてください。

さて、発達心理学の研究者である慶応大学の今井教授は、「子供は、言葉を学習しようとするが決して簡単なことではない。上手に使えるようになるには相応の時間と経験が必要である。」と言っています。つまり、他者とのコミュニケーションや幼い頃からの自発的な遊び、絵本の読み聞かせや読書などを数多く積み上げていくことが重要だということです。

例えば、「切る」であれば、就学前でも理解できる紙を切断する「切る」から、自分の力を出し切るや水を切るの「切る」を理解するまでにかなりの経験が必要です。抽象的な言葉はもっと難しく、「愛する」は、人を好きになるという意味なら小学生くらいでわかりますが、祖国を愛するやスポーツや芸術を愛するなどを理解しようとするには、相当の知識と経験が求められます。「愛する」を性愛という意味での好きとしか考えられない人間と思いやりや慈しみ、人や物を

大切にするという意味まで広げて考えられる人間とでは物事の考え方からコミュニケーションの幅まで全く違ってくるのです。

前述の小学生たちはわずか9歳にして、生き物や命に対する慈しみの意味での「愛する」を身につけているのです。このような思考は、暴力やいじめの解決だけにとどまらず、世界平和にもつながるものです。言葉の習得は、心の豊かさや物事を深く考えることにつながります。

また、文字にも不思議な力があります。識字学級（満足に学校教育を受けられず、文字の読み書きの能力を十分に身につけられなかった方が、その力を取り戻すための学習会）で学んだ方の感想に、「字を覚えたら、夕焼けは今までと変わらないのに本当に美しいと思うようになりました。」とあります。文字や文章を書くことは、自分の思考が明らかになり、それを表現することで感動という豊かな心の育成につながるのです。

このように、思考と言語が密接な関係にある中、本市では、「ことばの力」について幼小中が連携して研究を進めてきました。また、就学前教育では、「言葉の力の基礎の育成」を、小学校1年生では「ひらがなの読み書きプログラム」を実施して「ことばの力」を育む土台作りをしています。人間の考えは言葉からできており、その言葉が思考を決めます。何を美しいと思うのか、何が良くて何が悪いと思うのか、経験を積み重ねながら多くの言葉を獲得してこそ、その価値判断ができるようになります。「ことばの力」の獲得は、真の学力向上に大きな影響を与えることを理解した上で、今年度も日々の保育や授業の実践をお願いします。

研究・研修室より

令和5年度の事業

研修のテーマ

つながりあい、学びあい、豊かに生きる子どもを育むための指導力の向上

向上させる5つの力



学習指導力

主体的・対話的で
深い学びの実現

生徒指導力

園児・児童
・生徒理解力
コミュニケーション力

組織対応力 学級経営力

集団指導力
高い人権意識

特別支援教育

一人一人の特性
に応じた支援

ICT教育の推進

個別最適な学び
協働的な学び
学習・校務の効率化

研修後の評価・研修成果の活用・研修内容の還元



今年度の研修について

シリーズ研修として、「教師力向上研修」や「授業力向上研修(小学校国語科)」、「ICT研修」を開催します。また、「思考力・判断力・表現力等を育成する算数科の授業づくり」や「園小接続カリキュラム実践研究」にも取り組んでいます。長浜市教育研修会については、夏季休業中に集中して開催します。皆さまの参加をお待ちしております。

教育研究奨励事業

今年度も教育研究論文を募集します。たくさんの応募をお待ちしております。



教育研究発表大会

日時: 令和6年2月7日 午後 開催予定
研究発表会・講演会



教育は人なり

研究・研修室長 野村 由紀子

子どもたちにとって、私たち教師は身近で大きな存在です。日々の生活の中で、子どもたちは無意識のうちに教師の言動から影響を受けています。だからこそ、教育に携わる私たちは、「指導力」だけでなく、子どもたちに接する「人間性」を高めていく努力が必要です。私たち教師も「学び続ける」ことが大切です。

皆さんは目の前の子どもたちを「どんな子どもに成長させたい」と思いますか？そのために、いま何が必要なのか、どのようにすればよいのか…そんなヒントが見つけれられる研修を目指しています。

今年度の研修が有意義な学びの場となれば幸いです。研修への積極的な参加をお待ちしております。

教育相談室より

令和5年度の事業

不登校や発達に関する教育相談を行うとともに、児童生徒の社会的自立を目指し、個に応じた指導や支援を行います。



登校支援グループ

こどもサポートルーム なないろ

※ 不登校の児童生徒の社会的自立を目指し、個に応じた支援を実施します。

活動内容

- ・学習支援（本人の課題に合わせて…）
- ・体験・創作活動（体力づくり・趣味や得意なことを見つける…）
- ・ソーシャルスキルトレーニング（自分と向き合う・人と関わる・折り合いをつける…）

大地の家（浅井支所2階）

あざい（浅井体育館の東側）

ジョイ（高月支所3階）

★サテライト教室
ひまわり（眞行寺<朝日町>）
みらい（湖北支所3階）
ほっと（スティックホール）

発達支援グループ

ひらがなの読み書きプログラム

※ 今年も市内1年生児童を対象に実施します。
プログラムに基づいた支援についてセンターも協力させていただきます。

目的

- ① ひらがな清音の確実な習得をめざし、その後の様々な学習上のつまずきに軽減を図る。
- ② 発達上の課題を早期に発見し、個に応じた早期支援につなげる。



発達サポート事業（視機能・体の使い方）

※ 視機能や体の使い方に課題がみられる児童に対し、専門的な立場から年間を通して指導方法等の助言や早期支援を行います。

講師

富永絵理子 氏（オプトメトリスト…視機能・目の使い方の専門家）
中瀬 弘士 氏（作業療法士………体全般の使い方の専門家）



カウンセリング（巡回・センター）

※ カウンセリングの必要性を感じた時には、校内で検討の上ご連絡ください。

巡回カウンセラー（田中 泉） 配置校3校に加えて対応可
センターカウンセラー（高田 裕子） 浅井支所2階にて



一人一人に寄り添った支援を

教育相談室長 天野 真知子

★ 新年度がスタートして1か月が過ぎました。いろいろなことが始まる4月5月は、希望や期待でワクワクする反面、不安や緊張を感じる月でもあります。新しいことを受け入れて慣れるまでにかかる時間は一人一人違います。自分でも気づかないうちに体や心が緊張して、疲れを強く感じている子もいるのではないのでしょうか。

教育相談室では、不登校や発達に関する教育相談を行い、お子さん一人一人の特性の理解と支援方法とともに探り、お子さんが学校生活を円滑に送れるようご家族や学校の先生方の取組を支援していきます。お悩みや心配事などありましたら、お気軽に教育相談室にご相談ください。



ごあいさつ



所長 橘 憲照

ChatGPT など AI（人工知能）の技術発達により、その活用に多くの利便性や可能性が見出されています。懸念される人口減少の対策として積極的に導入を進める企業もあるようです。一方で情報が筒抜けになるなどの危険性も取り上げられていますが、いずれにしても導入にあたり如何に枠組みを設定し、運用してゆくかが重要になるでしょう。しかしその中にもあっても教職員は AI のような紋切り型ではない個々の児童生徒に応じた温かみのある関わりを持ちたいものです。昨年 7 月に法改正が行われ、教員免許更新制度が解消されました。教育基本法に「絶えず研究と修養に励み」と示されているように、今後は教職員一人一人が自ら進んで学ぶ姿が一層求められることとなります。AI によることなく自らの思いや考えで自身を高める『権利』は教職員としての『義務』でもあり、また醍醐味でもあります。教育センターは先生方の力量向上に向け研究研修事業を進め、児童生徒とその保護者および教職員に向けて教育相談室を開設しています。活用いただき、本年度も長浜の子どもたちのためにともに歩んでいきましょう。



長浜市教育センタースタッフ

所長 橘 憲照

研究・研修室

室長 野村由紀子
主幹（幼児課兼務） 主馬 崇行
研究員 水口 信也

指導力向上・2、3年次研修指導員

《就学前教育》

北川 真智 矢田 美春 田中 壽子
松井智津子 且本 真弓

指導力向上学校指導員

《養護教諭》

中山 秀子

外国人子どもサポート室

室長（研究・研修室長兼務）
主任指導員（ポルトガル語と兼務）
ポルトガル語（指導員）
ポルトガル語（支援員）
スペイン語通訳 タガログ語通訳
ベトナム語通訳 初期指導員

教育相談室

室長 天野真知子

発達支援グループ

主幹 関 あゆみ
相談員 川瀬 久栄
心理判定員 伊吹 秀世
心理判定員 戸田 潔

登校支援グループ

主幹 嘉瀬井弘美
相談員・指導員 杉本 義明
相談員・指導員 矢守 慶光
指導員 宮村 弘子
指導員 梶浦 恵子
指導員 後藤よしみ
指導員 大川 彩音
指導員 西堀 愛